

別表 1

段階確認一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回 / 1工事
河川土工 (掘削工) 砂防土工 (掘削工) 道路土工 (掘削工)		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回 / 土(岩)質の変化毎
道路土工 (路床盛土工) 舗装工 (下層路盤)		ブルーフローリング実施時	ブルーフローリング実施状況	1回 / 1工事
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	一般：1回 / 1工事 重点：1回 / 100m
	置換	掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ	一般：1回 / 1工事 重点：1回 / 100m
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	一般：1回 / 1工事 重点：1回 / 100m
バーチカルドレーン工	サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	施工時	使用材料、打設長さ	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
		施工完了時	基準高、施工位置、杭径	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打設長さ	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
		施工完了時	基準高、施工位置、杭径	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 セメントミルク攪拌 生石灰パイル	施工時	使用材料、深度	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
		施工完了時	基準高、位置・間隔、杭径	一般：1回 / 200本 重点：1回 / 100本
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	一般：1回 / 20本 重点：1回 / 10本
矢板工 (任意仮設を除く)	鋼矢板	打設時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板 + 一般：1回 / 75枚 重点：1回 / 50枚
		打設完了時	基準高、変位	
	鋼管矢板	打設時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板 + 一般：1回 / 75枚 重点：1回 / 50枚
		打設完了時	基準高、変位	
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打設時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	試験杭 + 一般：1回 / 10本 重点：1回 / 5本
		打設完了時(打込杭)	基準高、偏心量	
		掘削完了時(中掘杭)	掘削長さ、杭の先端土質	
		施工完了時(中掘杭)	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回 / 10本 重点：1回 / 5本
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	試験杭 + 一般：1回 / 10本 重点：1回 / 5本
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	一般：30%程度 / 1工事 重点：60%程度 / 1工事
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	試験杭 + 一般：1回 / 10本 重点：1回 / 5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回 / 10本 重点：1回 / 5本

段階確認一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
深礎工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎
		掘削完了時	長さ、支持地盤	一般：1回/3本 重点：全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度/1工事 重点：60%程度/1工事
		施工完了時	基準高、偏心量、径	一般：1回/3本 重点：全数
		グラウト注入時	使用材料、使用量	一般：1回/3本 重点：全数
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工		鉄柵据付完了時	使用材料、施工位置	1回/1構造物
		本体設置前(オープンケーソン)	支持層	
		掘削完了時(ニューマチックケーソン)		
		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎
鋼管井筒基礎工		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度/1工事 重点：60%程度/1工事
		打込時	使用材料、長さ、 溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 一般：1回/10本
		打込完了時	基準高、偏心量	重点：1回/5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回/10本 重点：1回/5本
置換工 (重要構造物)		掘削完了時	使用材料、幅、延長、 置換厚さ、支持地盤	1回/1構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回/1法線
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回/1法線
鋼製ゲート		仮組立て完了時(仮組立てが 省略となる場合を除く)	品質規格、寸法、溶接、ボルト、 孔間距離、組立状況、稼動状	1回/1門又は条
護岸工	法覆工(覆土施工 がある場合)	覆土前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回/1工事
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回/1工事
重要構造物 函渠工(樋門・樋 管を含む) 躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚ワーキング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場 本体工 水門工 共同溝本体工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎
		床掘掘削完了時	支持地盤(直接基礎)	1回/1構造物
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度/1構造物 重点：60%程度/1構造物
		埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回/1構造物
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回/1構造物
床版工		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度/1構造物 重点：60%程度/1構造物
鋼 橋		仮組立て完了時(仮組立てが 省略となる場合を除く)	キャンバー、寸法等	一般：- 重点：1回/1構造物
ボーステンション桁製作工 プレキャストロック桁組 立工 プレーム桁製作工 PCホーロー製作工 PC板桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押出箱桁製作工 床版・横組工		プレストレス導入完了時	設計図書との対比	一般：10%程度/総ケーブル数 重点：20%程度/総ケーブル数
		横締め作業完了時		
		プレストレス導入完了時	設計図書との対比	一般：10%程度/総ケーブル数 重点：20%程度/総ケーブル数
		縦締め作業完了時		
		PC鋼線・鉄筋組立て完了時 (工場製作を除く)	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度/1構造物 重点：60%程度/1構造物

段階確認一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
トンネル掘削工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎
トンネル支保工		支保工完了時 (支保工変更毎)	吹き付けコンクリート厚、 ロックボルト打込み本数及び長さ	1回/支保工変更毎
トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間	一般：1回/構造の変化毎 重点：3打設毎又は1回/構造の 変化毎の頻度の多い方 *重点監督：地山等級がD、Eのもの 一般監督：重点監督以外
		コンクリート打設後	出来形寸法	1回/200m以上 臨場により確認
トンネルインバート工		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比	1回/構造の変化毎
電気通信設備機器 製作工		工場製作完了時	外観、構造、形状寸法、機能 試験	1回以上/1工事
		現場据付完了時	外観、据付状況、機能試験	
施設機械製作工		工場製作完了時	外観、構造、形状寸法、機能 試験	1回以上/1工事
		現場据付完了時	外観、据付状況、機能試験	
大口径ポンプ製作工		工場製作完了時	外観、構造、形状寸法、機能 試験	1回以上/1工事
		仮組立て完了時	状態	
		現場据付完了時	外観、据付状況、機能試験	
法面アンカー工		アンカー緊張・定着時	設計値との比較	1回以上/1工事
法面吹付け工	ラス張工	ラス張完了時	施工状況の適否(設計図との 対比、継手の重ね幅、アン カー鉄筋、補強鉄筋)、使用材 質	1回以上/1工事
RC橋脚鋼板巻き立 て工	フーチング定着アンカー 窄孔工	フーチング定着アンカー窄孔完了時	窄孔長、窄孔径、間隔、孔内 状況	1回/1構造物
	鋼板取付工、固 定アンカー工	鋼板建込み固定アンカー完了時	使用材料 設計図書との対比	1回/1構造物
	現場溶接工	現場溶接前	仮付け溶接前の開先面の状 況、仮付け溶接寸法、外観状 況	1回/1構造物
		現場溶接完了時	溶接部の外観状況	
	現場塗装工	現場塗装前	鋼板面素地調整状況	1回/1構造物
		現場塗装完了時	外観状況	
アンカーボルト(落橋防 止、橋梁修繕等)	アンカーボルト長	材料搬入時		1回/1工事
	削孔長	削孔時		1回/1支承線上
	定着長(鋼製装着 の場合)	定着後		1回/10本
鉄筋(〃)		組立て完了時		1回/1支承線上
開削工(下水道・集 落排水工事)		埋戻し前	中心線、管天端高、基礎砂厚	1回/100m
推進工 (下水道・集落排水 工事)		掘削完了時 (裏込完了時)	中心線、施工延長、管底高、 管材の損傷・漏水の有無	1回/1スパン
	空伏工	鉄筋組立て完了時	配筋状況、使用材料	1回/1構造物
		埋戻し前	不可視部分の出来形	
	地盤改良工 (薬液注入工)	施工前 注入完了時	削孔位置、本数 注入量、材料使用量	1回/1現場
シールド工 (下水道・集落排水 工事)	一次覆工	一次覆工完了時	中心線、施工延長、断面寸法	1回/100m
	二次覆工	二次覆工完了時	中心線、施工延長、仕上り内 径	1回/200m
	空伏工	鉄筋組立て完了時	配筋状況、使用材料	1回/1構造物
		埋戻し前	不可視部分の出来形	
	地盤改良工 (薬液注入工)	施工前 注入完了時	削孔位置、本数 注入量、材料使用量	1回/1現場

段階確認一覧

一般：一般監督
重点：重点監督

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度
立坑工 (下水道・集落排水 工事)	土工	掘削完了時	位置、形状寸法、掘削深(基準高)	1回／1立坑
	鋼矢板式土留工	打込み時	使用材料、長さ	1回／1立坑
		打込み完了時	寸法、基準高	
	ライナープレート式土	設置完了時	寸法、基準高	1回／1立坑
	揺動圧入式立坑	施工時	使用材料、長さ	1回／1立坑
		施工完了時	寸法、基準高	
	支保工 路面覆工	設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回／1立坑
	地盤改良工 (薬液注入工)	施工前	削孔位置、本数	1回／1現場
注入完了時		注入量、材料使用量		
人孔築造工(下水道・ 集落排水工事)		鉄筋組立て完了時	配筋状況、使用材料	1回／1構造物
		製造完了時	不可視部分の出来形	
下水処理場、ポンプ 場土木構造物	土工	掘削完了時	基準高	1回／1工事
	指定仮設工		「指定仮設工」に同じ	
	既製杭工		「既製杭工」に同じ	
	場所打杭工		「場所打杭工」に同じ	
	躯体工		「重要構造物(躯体工)」に同じ	
管水路工 (農業用水路)		管接合完了時	基礎状況、管径、基準高等	一般：30％程度／1工事 重点：60％程度／1工事

注)・表中の「確認の程度」は、確認頻度の目安であり、実施に当たっては工事内容、工事規模及び施工状況等を勘案のうえ設定することとする。

なお1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位(目地)毎とする。

- ・この表に該当しない小規模な工事等については、当該工事において最低でも3工種程度は工事中に1回、主たる区切りの時期に段階確認を実施する。確認項目については、監督職員が適宜決定する。

- ・一般監督：重点監督以外の工事

- ・重点監督：下記の工事

イ 主たる工種に新工法・新材料を採用した工事

ロ 施工条件が厳しい工事

ハ 第三者に対する影響のある工事

ニ その他 低入札工事等